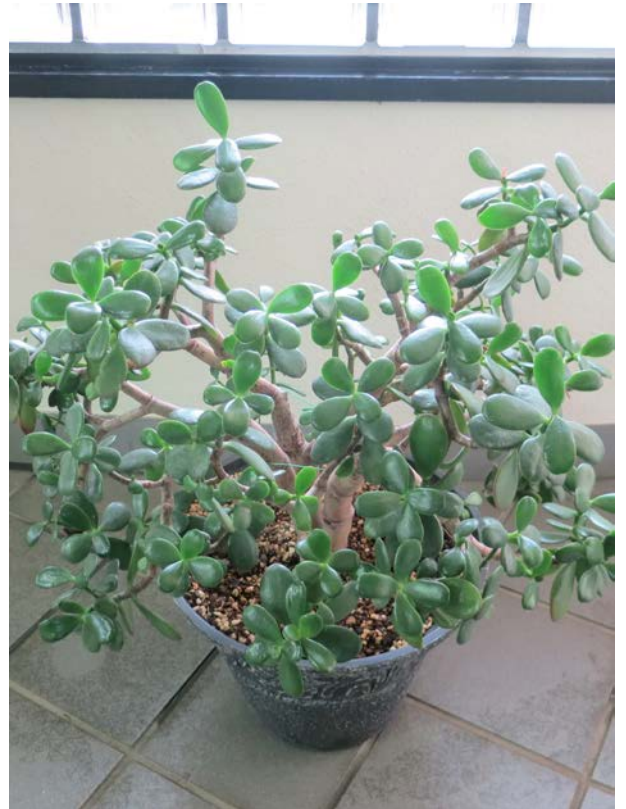


カゲツ（カネノナルキ）

ベンケイソウ科・クラッスラ属

特徴

和名はフチベニベンケイ（縁紅弁慶）、その他、成金草（ナリキンソウ）・花月（カゲツ）とも呼ばれています。高さ30cm～3mになり、開花期は12月～3月です。多肉質の葉や茎にたっぷり水分を蓄えることができるので、乾燥に強い反面、水を与え過ぎると根腐れしやすくなります。小さな株によく花をつける花の咲きやすい系統と、大株にならないと咲きにくい系統があり、葉は緑一色のものから、白やピンク、紅色の斑入り品種、葉が巻いたり細くなったりする品種があります。



用土

水はけのよい土が適しています。

市販の多肉植物の土、サボテンの土、または、赤玉土小粒5、腐葉土5、パーライト2の割合で混ぜた土を使います。

置き場所

1年を通じて日なたで管理します。春から秋は戸外に置き、冬は霜が降りる前に室内入れ、3度以上を保ちましょう。斑入り品種は日焼けしやすいので、梅雨明けから秋の彼岸ごろまでは、半日陰に置きましょう。

水やり

春から秋は土の表面が乾いてきたらたっぷり水を与えます。

冬は乾燥気味に管理し、2週間に1回程度、鉢底から流れ出るか出ないか程度の少量の水を与えるのみにしします。

肥料

あまり多くの肥料を与える必要はありません。鉢植えでは、4月から10月に規定量の半分程度の緩効性化成肥料を与えます。

植え替え

3月から6月、9月から10月が適期です。2～3年に1回、古土を少し落として一回り大きな鉢に植え替えます。

切り戻し

4月から10月に、大きくなりすぎた株は好みの位置で切り戻します。

切り取った枝は、さし木にして増やすことができ、4月から10月が適期です。新芽を2～3節で切り取って、数日間、風通しのよい日陰に置いて乾燥させてから、用土に挿します。